

令和8年度 家庭科

| | | | | | | | |
|-------|--------------------------|----|------|-----|-----|----|-----|
| 教科 | 家庭 | 科目 | 家庭基礎 | 単位数 | 2単位 | 年次 | 2年次 |
| 使用教科書 | 「家庭基礎」自立・共生・創造 (東京書籍) | | | | | | |
| 副教材等 | 最新 生活ハンドブック 2026 (第一学習社) | | | | | | |

1 担当者からのメッセージ (学習方法等)

○家庭生活に関心を持ち、積極的に取り組みましょう。

- ・衣・食・住生活および人の一生と家族・家庭、福祉、消費生活などに関する事項を生活科学として理解を深めましょう。
- ・多様な考え方を学び、自分自身の生活課題として捉え、科学的・批判的思考をもって判断できるようになりましょう。
- ・実践的・体験的な学習を通して、科学的な理解に基づいた技術を身に付けましょう。
- ・主体的に生活にかかわり、地域や社会を創っていく担い手になることを目指しましょう。
- ・授業中のワークシート記入については、板書を書き写すだけでなく、授業のポイントや自身で気づいたこと、教員の発言などをプリントの枠外に記入していきましょう。

2 学習の到達目標

生活の営みにかかる見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を通して、様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、男女が協力して主体的に家庭や地域の生活を創造する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

【知識及び技能】人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、生涯を見通して課題を解決する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。

3 評価の観点及びその趣旨

| | | | |
|--------|---------|------------|-----------------|
| 観 点 | a:知識・技能 | b:思考・判断・表現 | c:主体的に学習に取り組む態度 |
|--------|---------|------------|-----------------|

| | | | |
|---|---|---|---|
| 観 点 の 趣 旨 | 人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けている。 | 家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して課題を解決する力を身に付けている。 | 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。 |
| 上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。 | | | |

4 学習の活動

| 学 期 | 単 元 名 | 学 習 内 容 | 単 元 (題 材) の 評 価 規 準 | 評 価 方 法 | | |
|-------------|----------------------------|-----------------------------|--|------------------|--------------------|--------------------|
| | | | | 知(a) | 思(b) | 主(c) |
| 一 学 期 | 生 涯 を 見 通 す | ○自立と共生 ・自立とは ・青年期を生きる | a: 青年期の課題を理解するとともに、自立した生活を営むために必要な情報の収集・整理を行うことができる。 b: 青年期にある自分を見つめ、自己の意思決定に基づき責任をもって行動することについて、問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして、生涯を見通して生活の課題を解決する力を身に付けている。 c: 青年期の生き方について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を創造し、実践しようとしている。 | 定期考査 | 定期考査 ワークシート | ワークシート 授業観察 |

| | | | | | | |
|------------|-----------------|--|---|-------------|---------------------------|---------------------------|
| | <p>人生を作る</p> | <p>○共に生きる家族 ・家族のカタチ</p> <p>○家族に関する法律 ・家族法の理念と背景 ・時代に応じた民法改正 ・家族に関する法律</p> <p>○これからの家族について考えよう。</p> | <p>a: 家族・家庭の機能と家族関係、家族・家庭を取り巻く社会環境の変化や課題について理解している。</p> <p>b: 家族・家庭を取り巻く社会環境や、家族の一員としての役割を果たし、家庭を築くことについて、問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして、生涯を見通して生活の課題を解決する力を身に付けている。</p> <p>c: 家庭や地域のよりよい生活のために、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を創造し、実践しようとしている。</p> | <p>定期考査</p> | <p>定期考査</p> <p>ワークシート</p> | <p>ワークシート</p> <p>授業観察</p> |
| <p>二学期</p> | <p>子どもと共に育つ</p> | <p>○子どもとは</p> <p>○子どもの発達 ・かかわりのなかの発達 ・知的発達 ・身体の発育・発達</p> <p>○子どもをはぐくむ ・しつけと親子のコミュニケーション ・子育てを支える制度</p> | <p>a: 乳幼児期の心身の発達と生活、親の役割と保育、子どもを取り巻く社会環境、子育て支援について理解するとともに、乳幼児と適切に関わるための基礎的な技能を身に付けている。</p> <p>b: 子どもを産み育てることの意義について考えるとともに、子どもを取り巻く社会環境などから問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして、生涯を見通して生活の課題を解決する力を身に付けている。</p> <p>c: 子どもを取り巻く社会環境、子育て支援について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を創造し、実践しようとしている。</p> | <p>定期考査</p> | <p>定期考査</p> <p>ワークシート</p> | <p>ワークシート</p> <p>授業観察</p> |

| | | | | | | |
|-----|---|---|--|------|------|------------------------------------|
| | 食生活をつくる | <p>○私たちの食生活</p> <ul style="list-style-type: none"> ・私の食生活 <p>○栄養と食品のかかわり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食品と栄養素とからだの成分 ・五大栄養素 <p>○食事の計画と調理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食事摂取基準と食品摂取量のめやす ・調理の準備から後かたづけまで <p>○食品の選び方と安全</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食品の衛生と安全 <p>【調理実習】</p> | <p>a: 食品の栄養的特質、健康や環境に配慮した食生活について理解し、自己や家族の食生活の計画・管理に必要な技能や、目的に応じた調理に必要な技能を身に付けている。</p> <p>b: 食事摂取基準や食品群別摂取量のめやすを活用し、各自の食生活の実態から、問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして、生涯を見通して生活の課題を解決する力を身に付けている。</p> <p>c: よりよい食生活について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を創造し、実践しようとしている。</p> | 定期考査 | 定期考査 | ワークシート ワークシート 授業観察 レポート課題 |
| 三学期 | <p>経済生活を営む</p> <p>・</p> <p>持続可能な生活を営む</p> | <p>○消費生活の現状と課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「買う」ことは「契約」 ・多様化する販売方法 ・適切な契約 ・支払い方法の多様化と消費者信用 <p>○消費者の権利と責任</p> <ul style="list-style-type: none"> ・消費者の権利を守るために ・これからの消費者 ・買い物は投票だ ・持続可能な世界に向けて <p>○暮らしと経済</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家計と経済のかかわり ・生活に必要な費用と管理 ・現代の家計の傾向 <p>○将来のライフプランニング</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人生設計とお金 ・リスク管理と資産形成 | <p>a: 家計管理、家計の構造や生活における経済と社会の関わりについて理解するとともに、現在および将来の消費生活のために必要な情報を適切に収集・整理できる。</p> <p>b: 生活における経済の管理や計画、自らの消費行動について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして、生涯を見通して生活の課題を解決する力を身に付けている。</p> <p>c: 自立した消費者として生活情報を活用し、適切な意思決定に基づいて行動することについて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を創造し、実践しようとしている。</p> | 定期考査 | 定期考査 | ワークシート ワークシート 授業観察 レポート課題 |

※ 表中の観点について a:知識・技能 b:思考・判断・表現 c:主体的に学習に取り組む態度